地域公共交通網形成計画の基本的方針及び目標設定(案)について

「地域公共交通網形成計画」に掲げる「基本的方針」及び「目標設定」の案を以下のとおり設定する。

1) 基本的方針の設定

(1) 目指すべき将来像

誰もがいきいきと活動でき、
安全・快適な生活を支える交通環境の創出

本市は、35.71 k m²のコンパクトな都市である。このコンパクトな都市の中に、憩いの空間である水と緑、充実した商業機能や医療機能が立地している。これらの空間や施設を誰もが快適に利用できる、「住んでよかった」と心から思えるまちづくりを目指す。

(2) 公共交通が果たすべき役割

充実した様々な空間や都市機能を結び、誰もが気軽に外出できる安全・快適な移動手段としての充実を図る。

充実した公共交通網の形成により、車利用から公共交通への転換を促し、更に公共交通の機能が充実する、このような好循環の創出により、環境にもやさしい、持続可能な交通環境の実現を図る。

2) 目標の設定

公共交通の活性化及び再生に向けた取組の方向性に対応した目標（案）を以下のとおり設定する。

目標1 モコバス利用の促進

- ・モコバスの利便性を向上し、利用者数の増加を目指す。

指標	現況値 (平成 27 年度)	中間目標値 (平成 32 年度)	目標値 (平成 37 年度)
年間 利用者数	138,232 人/年	157,804 人/年	176,149 人/年

※Cルート運行開始の平成 25 年から平成 27 年の 1 次回帰より設定

次ページに見直し案について記載

目標2 バス利用に関する満足度

- ・バス利用の利便性を向上し、バス利用の満足度を高める。

指標	現況値 (平成 27 年度)	中間目標値 (平成 32 年度)	目標値 (平成 37 年度)
割合	22.4 %	24.4 %	26.9 %

※対象は、「守谷市まちづくり市民アンケート」の「市内のバス（民間路線バス、コミュニティバス）は便利に利用できるか」の回答「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」の合計の回答者に占める割合

※Cルート運行開始の平成 25 年から平成 27 年の 1 次回帰より設定

目標3 バス待ち環境の向上

- ・主なバス停のバス待ち環境の向上を図る（スペースの確保、ベンチ、バス案内システムの設置等）。

指標	現況値 (平成 27 年度)	中間目標値 (平成 32 年度)	目標値 (平成 37 年度)
事業数	0 事業	2 事業	3 事業

※平成 28 年度にバスロケーションシステムを導入し、バス待ち環境の向上を実施

※中間目標までに、新たに 1 事業（スペースの確保やベンチの設置等）を実施

※目標年次まで事業を継続するとともに、さらに 1 事業実施

分科会意見を踏まえ、目標の見直しについて検討

「モコバスのキロあたりの利用者数」 など、利用規模ではなく、いかに効率的に人を運べているかに着目した指標とすることを提案

【モコバスの利用実態についての試算結果】（平成 29 年 9 月の乗り込み調査に基づく試算）

		A 路線延 長 (km)	B 1 日あ たり運 行本数	C=A×B 1 日あた り運行 キロ	D 1 日あたり 利用者数 (調査日実 績)	E 利用者の 平均乗車 距離 (km)	F=D×E 1 日あた り乗車キ ロ	G=F/C キロあた り利用者 数
A	左回り	21.5 11.8 9.8	6 6 2 (調査 対象 1)	209.6	104	5.4	559.3	2.7
	右回り	21.5 11.8	8 (調査 対象 7) 6	221.3	91	6.2	567.6	2.6
B	左回り	12	16	192	89	3.1	276	1.4
	右回り	12	16	192	75	4.2	311.4	1.6
C	左回り	35	4	140	63	5.9	370.2	2.6
	右回り	35	4	140	62	5.3	330.1	2.4

3) 公共交通施策のターゲット

市民アンケートに基づき、個人属性や居住地別の対応方針について、以下の通り位置づける。

①個人属性（年齢、職業）に応じた対応方針

主なアンケート回答者の属性 (回答者数 471 票)		職業	
		会社員・公務員・自営業の方	パート・家事従事者・無職の方
年齢	60 代以上	33 (うち、70 代以上 7)	172 (うち、70 代以上 80)
	60 代未満	143	105

○「60 代以上 会社員・公務員・自営業の方」をターゲットとした取組方針案

比較的公共交通の利用可能性が高い層であると想定される。

→通勤に加えて、買い物、通院をはじめとするおでかけを促進し、モコバスをはじめとした公共交通の利用ニーズを発掘する。

○「60 代未満 会社員・公務員・自営業の方」をターゲットとした取組方針案

通勤時の交通手段に関して、自動車以外の多様な手段を利用している。公共交通の利用意向については、利用する方と利用しない方が二分されている。

→通勤時の交通手段の選択肢を提供する取組により、公共交通の利用しやすさを向上させる。

○「60 代以上 パート・家事従事者・無職の方」をターゲットとした取組方針案

買い物、通院等の交通手段に関して、自動車以外の多様な手段を利用している。公共交通の利用意向が高い。

→公共交通利用の主要なターゲットとして、おでかけの機会と手段を創出する。

○「60 代未満 パート・家事従事者・無職の方」をターゲットとした取組方針案

通勤（パート）と買い物の日常的な移動が大半を占め、移動頻度も比較的高い。交通手段は自動車を中心であるが、公共交通の利用意向は多様であるため、きめ細かな対応が必要となる。

→パート先や買い物先への移動に関して、公共交通を利用する条件を把握した上で対策を検討する。

②居住地に応じた対応方針（再掲）

地区	特徴と考えられる対応（案）
①守谷地区	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段、バスで行きたい施設等、多様なニーズが存在 ・バス停の数を増やすことに対する要望が多い <p style="text-align: center;">→地区内の駅や商業施設へ向かう短距離の移動手段の充実</p>
②みずき野地区	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物や通院、送迎や路線バスの利用、公共交通の利用意向が高い。 ・運行本数や運賃、運行時間帯など、バスに対する要望が多い。 <p style="text-align: center;">→公共交通手段の確保、サービスレベルの向上</p>
③北守谷地区	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物や通院、車や路線バスの利用、公共交通を積極的に／できるだけ利用するとの回答と、今後も利用しないとの回答に分かれている。 ・目的地まで遠いこと、運賃が高いことが不満として挙げられている。 <p style="text-align: center;">→守谷駅周辺やイオンタウンへの移動手段の確保</p>
④大野	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物が多く、車やモコバスの利用も多い。公共交通を積極的に利用するとの回答と、今後も利用しないとの回答に分かれている。 ・公共交通に対する不満や要望が、他地区に比べて少ない。 <p style="text-align: center;">→モコバスの利用促進による公共交通の定着</p>
⑤高野	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤と買い物、車や自転車の利用、身近にあれば公共交通を利用するとの回答が多い。 ・バス停が無いことに対する不満が多い。 <p style="text-align: center;">→公共交通手段の確保（新たな手段も含む）、自転車との連携</p>
⑥大井沢地区	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤が多く、車の利用が非常に多い。身近にあれば公共交通を利用するとの回答と今後も利用しないとの回答が多い。 ・公共交通に対する不満や要望が、他地区に比べて少ない。 <p style="text-align: center;">→公共交通手段の確保（新たな手段も含む）、周知活動</p>